

農林水産省のBSE研究の取組状況

昭和63年度より

◎国内発生のある羊スクレイピーを対象とした伝達性海綿状脳症の病態発生に関する基礎研究

- ・異常プリオンの体内蓄積部位の解明
- ・異常プリオンを効果的に検出するための抗体の開発
- ・異常プリオンの抗原抗体反応を利用した高精度検出法の開発

動物衛生研究所
理化学研究所、東北大、等

抗体・微量プリオン検出法・病態比較に関する基礎的知見の集積及び基盤的技術の開発

平成13年
9月10日
BSE擬似患者の確認

科学技術振興調整費
緊急研究開発

我が国におけるBSE診断法の標準化

- ・生化学的及び免疫組織学的確定診断法の標準化
- ・と畜場におけるスクリーニング法の開発

動物衛生研究所
国立感染症研究所
帯広畜産大

緊急
取り組み

補完関係

平成13年度より

英国よりBSE試料を導入し、牛海綿状脳症(BSE)の国内研究実施

- ・ヒツジスクレイピー用抗体のBSE適応性評価
- ・高感度検出法の牛への適用

動物衛生研究所

平成14年度より

国内では実施できない、BSE感染ウシを使い英国と共同研究

- ・高精度検出法の実用レベルでの有効性の確認
- ・異常プリオンの診断技術の開発

動物衛生研究所
英国獣医学研究所
英国ロンドン大学 等

平成13年度2次補正
動物衛生高度研究施設(仮称)の整備

BSE研究の加速化

牛等の動物に異常プリオン蛋白質を人為的に感染させてBSE発症機構の解明及び生前診断法の開発試験が可能な施設(P3レベル)

BSEの確定診断法の確立等

平成12年

平成13年

平成14年

平成15年